

ディスコグラフィー収録

ディスコグラフィー【2020No.171】(HP 収録)

分類 : LP

作曲家 : J. S. Bach

曲 : Sonatas & Partitas

演奏 : Nathan Milstein,

発売 : Deutsche Grammophon

No. : 483-6927/6928/6929

概要 :



収録曲

Sonata No. 1 In G Minor, BWV 1001

A-1 Adagio 3:56

A-2 Fuga. Allegro 5:01

A-3 Siciliana 3:11

A-4 Presto 2:33

Partita No. 1 In B Minor, BWV 1002

B-1 Allemanda 4:06

B-2 Double 2:13

B-3 Corrente 2:35

B-4 Double. Presto 2:47

B-5 Sarabanda 2:10

- B-6 Double 1:26
- B-7 Tempo Di Borea 2:02
- B-8 Double 1:55
- Sonata No. 2 In A Minor, BWV 1003
  - C-1 Grave 4:01
  - C-2 Fuga 7:22
  - C-3 Andante 4:35
  - C-4 Allegro 6:09
- Partita No. 2 In D Minor, BWV 1004
  - D-1 Allemanda 4:05
  - D-2 Corrente 3:33
  - D-3 Sarabanda 4:01
  - D-4 Giga 4:13
  - D-5 Ciaccona 13:56
- Sonata No. 3 In C Major, BWV 1005
  - E-1 Adagio 4:22
  - E-2 Corrente 9:46
  - E-3 Largo 3:15
  - E-4 Allegro Assai 3:33
- Partita No. 3 In E Major, BWV 1006
  - F-1 Preludio 3:36
  - F-2 Loure 4:12
  - F-3 Gavotte En Rondeau 3:08
  - F-4 Menuet I 1:56
  - F-5 Menuet II - Menuet I Da Capo 2:02
  - F-6 Bourree 1:31
  - F-7 Gigue 1:59

本盤は、オリジナルが 1975 年発売の復刻版で、ZANDEN のリストでは、TELDEC の正相で第 4 時定数は Mid になっています。復刻版ですので、もしかすると他の条件が良いのではないかと、いろいろと切り替えて聴いてみましたが、ZANDEN のリストに従うのが良さそうだと分かりましたので、TELDEC の正相、第 4 時定数は Mid で聴いていきました。

ミルシュテインの優美で歌うようなヴァイオリンの美音が聴きどころです。ミルシュテインは本来かなりの技巧派だそうですが、そういったところを前面に押し出すことはないものの、シャコンヌなどでは、部分的にそういった技巧も覗かせてくれます。ところによっては、ミルシュテインの息遣いまでリアルに聴きとれます。

グラモフォンは、音が硬く、ピアノ曲の再生には良いが、ヴァイオリンを聴くには向いていないと思い込んでいましたが、この ZANDEN のフォノイコライザーで条件的に選択していくと、このようにミルシュテインのヴァイオリンの美音を聴くことができることが分りました。

以上